

あつし塾長の

# 子のやる気 親の気づき

〇〇68



学校での勉強を「授業」と呼ぶようになってからは、いつのころからか。確か明治5年の学制発布以降、黒板での一斉授業が始まり全国津々浦々に広まったという文献を読んだことがあります。塾でも「授業」といえば、長い間一斉授業でした。

## 勉強部活

しかし、ゆとり教育の時代に入り、個別授業または個別指導のウエートが大きくなってきています。

家庭での勉強は「授業」ではなく家庭学習と呼びます。私はこの仕事に携わるようになってから「宿題だけではなく他に家でやらせたい」「うちの子はちょっと家で勉強しなくて」という家庭からの要望を聞くにつけ、家庭学習の習慣を

# 一人じゃない環境が鍵



by yoriko

身に付けさせる方法をずっと考えてきました。そして、成績の上位者はもちろん、中位、下位の子でも爆発的に学習量を増やさせて、家庭学習も自律的に取り組むようになる「OK-学習法」を売成させました。

## 一斉個別方式で予習習慣

家庭学習には、「予習と復習」という言葉があります。この学習法は、特に「予習」を家庭学習の習慣にすることで、勉強の仕方を身に付けさせます。志望校では、約33坪の広さの教室に、成績の上位者も下位者も区別なく所狭しと座ります。

しかし、不思議なくらい一切おしゃべりはしません。しかも「予習」中心に、黙々とテキストに取り組みます。子どもたちは、1問30秒、1〜5分のスピードで解き終わったペーパーを自己採点し、先生に承認のハンコを押してもらうために、教室の後ろの指導机まで行って並び、自分の順番を待ちます。

子どもの成績向上、志望校実現は、やる気とやり抜く力次第です。「OK-学習法」を待ちます。

子どもは幼いころは、やる気を向上させるために、実はラジオ体操と部活動に注目しました。子どもはラジオ体操だと、なぜ夏休みだけは眠い目をこすみだけして、学年が進むにつれて友達と一緒に行動するようになっていきます。勉強にも部活同様に、上手な先輩や友達を本としたり、みんなが頑張ったりできる環境が欲しいものではないかと、子どもに「一人じゃない」という環境を口に出します。子どもの学習指導では、やるべき理屈だけではなく、やるべき力が身に付かないものではないかと、子どもに「一人じゃない」という環境を口に出します。子どもの学習指導では、やるべき理屈だけではなく、やるべき力が身に付かないものではないかと、子どもに「一人じゃない」という環境を口に出します。

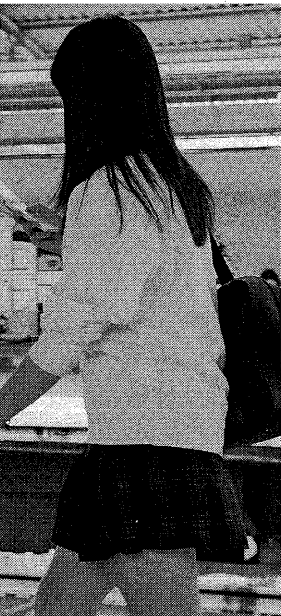
り公園へ向かわれて友達と一緒に行動するようになっていきます。勉強にも部活同様に、上手な先輩や友達を本としたり、みんなが頑張ったりできる環境が欲しいものではないかと、子どもに「一人じゃない」という環境を口に出します。子どもの学習指導では、やるべき理屈だけではなく、やるべき力が身に付かないものではないかと、子どもに「一人じゃない」という環境を口に出します。

「地震に  
もって」「  
んも毎日  
う」。16年  
災地、神  
「しあわせ  
追悼イベン  
きた。その  
ど国内外で  
起きるたび  
で歌われる  
り、これま  
や中国語、  
語版などに  
るまでにな  
この曲を  
曲した神戸  
小学校の音  
白井真喜、  
「東日本大  
のために役  
い」と、曲  
ピンコード  
災に対する  
をつづった  
ク「しあわ  
ように」マ  
1600  
版。音楽と  
税全額を寄  
いう。  
震災後、  
被災地に届  
く、白井さ  
役に立ちた  
に本の出版  
たという。  
が海外にも  
自分の想像  
らずと前

## 教育

ホームを歩く間も携帯電話を開く女子高校生

首都圏の駅



て、  
手不  
た。  
は、  
毎日  
なか  
襲う

# 親も知らない。プロ 子どもとケータイ

12

「プロフやリアルで怖い」からせをされたこともあ  
目に遭ったこと。ある。

「プロフやリアルで怖い」からせをされたこともあ  
目に遭ったこと。ある。

も